



東京都立江東特別支援学校

# 学校だより

令和3年度第3号 令和3年5月22日発行

## 梅雨を吹き飛ばせ

校長 小原由嗣

近畿・東海地方は記録的に早い入梅となり、いよいよ長雨の季節を迎えようとしています。

保護者の皆様には、緊急事態宣言を踏まえ、本校の教育活動について様々な場面で、御理解、御協力いただき感謝申し上げます。本校の一斉送信メール「マチコミ」でも随時お伝えしておりますが、今年度に入り、生徒が受けたPCR検査で陽性者はまだ出ておりません。そのため、各学年、各クラスとも感染予防を徹底し、できる限り通常の学習活動を維持できるようにしております。

しかし残念ながら、緊急事態宣言発令中のため、本日実施予定だった、体育祭は体育授業参観に変更し、各学年、学科、平日の参観とさせていただきます。生徒、保護者の皆様が楽しみにしていた行事だけに苦渋の選択ですが、御理解いただきたく存じます。現在は、保健体育の授業を中心に、各学年、学科で趣向を凝らした種目を練習中です。いつもの体育祭前と変わらない、梅雨を吹き飛ばすような、元気な歓声と音楽が響いています。

普通科は鳴子を持って「かみどん」（よさこいソーラン）を踊ります。1年生は、「玉入れ」、2年生は「ボールリレー」、3年生は「棒引き」を行います。職能開発科は全体で「集団行動・ダンス」を行います。各学年、学科の通し練習を参観いただきましたが、いずれの種目も、しっかりと準備し体育祭の臨場感が感じられる内容でした。この生徒たちの頑張りを御覧いただきたいと考えております。各学年だより、学科通信などで、見どころをお伝えしております。ぜひ、それぞれの学年、学科の発表日への、御参観と応援をよろしくお願いいたします。

このように工夫をして、これまで行ってきた教育活動を止めないこと、教育の質を維持、向上させることを心掛けてまいります。すでに始まっている生徒もおりますが、3年生にとって6月は現場実習が本格化してまいります。現在、進路担当の教員を中心に、実習先との最終的な調整に入っております。併せて、面接の実施や実習帳の作成などの準備が進んでいる生徒もいます。必要な教育活動を必要な時期に行って、このコロナ禍を乗り越えてまいります。

緊急事態宣言の期限は5月31日までとなっておりますが、感染者の状況によっては、延長が考えられます。教育活動の変更等については、情報が入り次第、迅速にお伝えしてまいります。安全・安心の学校生活を維持できるよう教職員が一丸となって取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。